

# 報わがが

発行者 香川自治会広報委員会  
印刷所 (株)スエカネ印刷

## 六年度は役員改選の時 自治会活動に御参加を

香川自治会長 古谷 金 政

あけましておめでとうございませう。おだやかな正月で、今年はい年になることと思っております。自治会は今年役員改選の年になります。有能な方がたくさんいらっしゃると思いますので、どうか自治会の方に出て、いろいろと会のために活躍をいただきたいと願っております。

自治会も先輩会長ががんばり運営をなさってこられました。三千戸、一万人をこえる大世帯になって、大きいのがゆえにまた問題も出てきております。会のためにお知恵をおかりしただけでは、いろいろと活動したらいけないか。基盤整備をやっていかなければいけないかと思う。☆温泉会計委員長



賀詞交換会

## 将来を見据えて、町内会の分割を!!

役員会で語り合う

昨年最後の定例役員会で、香川・下寺尾地区の開発事業や高度鋼跡地に行けるマルエツの進出、世帯数の増加など、大きな自治会を、どのようにして運営したらよいか、熱心に話しあわれました。その要旨を次に掲げます。

☆古谷自治会長  
自治会の分割問題は考えていかなければならない。町内会を五、六に分けるか、町内会単独で特色をいかして活動したらよいのではないかと。基盤整備をやっていかなければいけないかと思う。

☆石嶋第四町内会長  
自治会が膨大になりすぎたので香川をもっと細分化しないと、きめ細かな活動ができない。例えば第二町内会は相模線で町内が分断されている。第四町内会は、たいへん広い敷地の中で東と北に分れて世帯数は別として、生活範囲が相当違う。自治会も組織作りを再考する価値がある。それに対してこれからは役員さんたちに検討してやってもらいたいと思う。

☆宮代消防委員長  
あふ時は語りつくすと思へども別るとなれば残る言の葉  
災害対策を平素からしておこう。

## 私の提言

縁あって香川の地に住むようになってから、かれこれ三十年。何かと自治会にはお世話になっている苦にもかわらず、なんらご恩返しもせずに打ち過ぎているとは恥ずかしい限りである。にもかかわらず、投稿を依頼されずうずうしくもお引き受けしたかたちになってしまった。

が会員に対して執行姿勢を示して円滑な会務運営に資するための欄と理解していたからである。そこで独断と偏見を承知のうえで「提言」とかえさせて戴くことにした。

## 健康に生きるための施策を

香川一二三四 高橋 韶 光

健康は守るものから積極的に自らがつくって行く時代へと変わり病気がないことが健康だ、という考えから脱皮して、健康が人生に対する意欲や社会との関わりから論じられるようになっていく。

☆小西総務委員長  
組数は4年4月290組だったのが現在304組、世帯数2796が2907にふえている。今年役員改選の時なので新しい人に出てもらい、よいアイデアを出してほしい。新組長の資料作りを今やっているが、一人で304組の袋詰めをするのは大変だ。

☆亀井第三町内会長  
現代は全国的に世代交替の時代だから、自治会も若返らなければだめだ。役員が60才以上の人がばかりでなく、若い人たちもどんどん出てきてほしい。本部の活動ももっと楽しくできるように。自治会の活性化を図らなければならない。

☆中村環境整備委員長  
あふ時は語りつくすと思へども別るとなれば残る言の葉  
災害対策を平素からしておこう。

随想

正月を迎える想い出から

佐々木直人

指折り数えてと唄いながら待つた正月は子供等には何にも勝る楽しいものでした。大人にとつては、正月を迎えると云うことは、忍びにすることの出来ない大切な家の行事でした。正月を迎える故郷(南信濃地方)の行事の想い出を辿ってみました。

正月を迎える第一の行事は「松迎え」です。十二月二十八日迄に恵方に当る山へ門松にする松を採りに行きます。その年に生い出た枝に、新しい正月の精を乗せてお連れする訳です。迎えて来た松は不浄を避けて家の縁側に置かれ、洗米が供えられてから、門松として立派に飾られます。

農村の祭りや行事は農耕生活に関わる神々の祭典であると思えます。稲作りは田の神に、養蚕は蚕玉様、灌漑は水神様、植林は山の神とすべての農事に神々の守りを祈念するのです。殊に正月を迎えると云う行事は一番大切なことでした。家々に依って多少の異なりはありますが、先祖代々行なわれて来た行事を怠りなく引継いで行くことが

活動は本の貸し出しのみではなく、映画会・文庫まつり・人形劇・クリスマス会・「わたしと戦争」編集・図書館分館建設運動等、香川の子どものためによりよい教育環境づくりを努めてきました。子どもたちに伝える戦争体験文集「わたしと戦争」では、地域の方々に筆をとっていただき、十冊もの冊子が出来ました。小・中学校では平和を考える教材として活用してもらえました。また図書館分館建設運動では、六十四年五月公民館と併設の図書館分館が香川に出来ました。私達の文庫も香川に図書館が出来たことで、図書館お話し室での月一回のおはなし会へと変っていき、平成五年十月四日のおはなし会を最後に「かがわ

「かがわ文庫」をめぐらう

上総悦子

今から二十年程前、香川小学校PTAサークル「母と子」を「む会」の中で、子ども達によい本を読ませたいという事が何回も話し合われ、夏休みに二回、緑陰図書館を開きました。図書館に遠く離れている香川で、夏休みだけではなく定期的に本の貸し出しのできる文庫が欲しいという思いにかられ、PTAの人達、地域で家庭文庫を開いている人達に呼びかけ、又香川自治会へ文庫設立協力を申し入れ、昭和五十三年一月、自治会館一階のコナラーを利用してもらい、市立図書館より五百冊、寄贈図書四百冊をもって「かがわ文庫」として貸し出しをスタートさせました。

二十九日にお正月の神棚が飾られ、鏡餅が供えられ、台所やかまどに小さなお供えが供えられます。鏡餅は御神体の「鏡」と同じこと、つまり餅でお正月様を表しているのです。形を丸く作るのには、それが魂の形、心臓の形だと信じられていたからです。丸いお餅は一年を支える生命力、お正月様そのもののなのです。

初詣でに百参名参加

元旦に行われる初詣で歩行大会は、第19回を迎える伝統行事ですが、今年も二百名以上が集まり、用意された甘酒や豚汁、御神酒をのみに、元旦の挨拶をかわしました。

や豚汁は神輿保存会、御神酒は神社役員の方たちが御奉仕されました。悪天候の中、準備もたいへんだったわけで、本当にご苦労さまでした。午後11時45分に神社に集合、上原振会長のおいさつの後、0時半出発。午前1時25分頃到着。自由行動の後、午前2時半出発、流れ解散して家路に向いました。無事に初詣でができたのも、多勢の方のご協力があったおかげで本当にありがとうございました。

高南一周駅伝で準優勝

1月15日(土)、恒例の第56回高南一周駅伝大会が、総合体育館を起点として三コースに分れて行われました。香川からは男子3、女子1チームが出場、男子Aが二位を獲得しました。成績は、△男子香川A 2位B 18位C 23位 △女子 9位 優勝は男1部浜須賀A、2部市役所C、女1部 浜須賀A

香小校庭と体育館開放

学校の五日制実施をふまえて、第二と第四の土曜日が休業となるために、香川小学校では両日の九時から十二時まで地域のみなさんに校庭と体育館を開放することになりました。ボールは学校の借りられますが、それ以外の用具は個人で持参して下さい。小・中学生が親子でサッカーやドッジボールもできます。ゴルフの練習はできませんので、ご注意ください。代行員や管理員の方がおられますが、事故のないように気をつけて楽しく運動して下さい。

訃報

(平成6年1月現在)

- 菱沼 武彦様 43才 11月17日
中村 四郎様 74才 12月18日
穴山 光子様 65才 12月21日
小門 妙様 81才 12月24日
森谷 信夫様 85才 12月28日
川口 文枝様 71才 1月9日

Table with 4 columns: 香川女子チーム, 香川Cチーム, 香川Bチーム, 香川Aチーム. Rows include names of participants and supervisors across different districts.

# 磁石と潮汐で地震予知

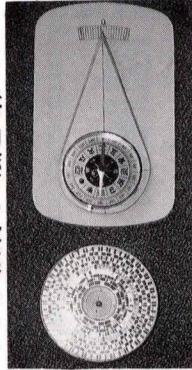
## 巨大地震は平成7年から9年に発生

武田 五八

巨大地震は、約七十周年周期で発生すると言われ、太陽黒点数極小値年又は、前後二年の範囲で発生している。

次の太陽活動での年周期における黒点極小値年は、平成九年(一九九七年)となり、巨大地震発生サイクル74年目に当たり、二年前の平成七年(一九九五年)九月以降に発生する。さらに、次の黒点極小値年は平成二十年(二〇〇八年)となる。

平成七年以降、日でも続きならばマグニチュード8前後、関東地区に発生が予想されている。そこで、皆さんもやってみませんか。手軽にできる地震予知をこの方法は、横浜市民防災協議会メンバーの西野巨氏、故日本赤十字社神奈川支部役員であった相川文五郎氏の指導のもとに行なっているもので、関東地区等を含め、地震の発生を予測する確率は高い。潮汐による予知は、満月、新月の前後三日間は発生率が高い。長潮、中潮、大潮の枠の中の発生率が最も多く、大潮前後は、特にマグニチュードの高い数値を示している。



(方向磁石の設置)

詳細については、紙面の都合で省略、次の磁石についてお話をさせていただきます。

市販品の方向磁石の磁針を南北に合わせ、裏面を両面テープ等で固定し、毎日の計測時間を定め、磁針の変化を記録する。磁石があまり小さいと見にくいので、大きさが四・五cm位が良いと思います。また、磁針を支える中央の軸は、板状のものより丸軸の方が良いでしょう。

地震の前提としてプレートートの歪みが、磁性を変えるとされている。地震の予測範囲は、計測地のプレートの歪みが主であり、横浜市では、隣接するプレートは多く、フィリピン、太平洋、北米プレート(サハリン)等があり、磁針での予測は難しいが、平均的には、磁針が変化してから七日〜八日目に地震が発生することが多い。地

# 堀で遊泳中に大地震が…

## 「こわかったな」

今回は、第一町内会にお住居の亀井義弘さんをお訪ねして、幼い日の思い出などを話して頂いた。

亀井義弘さん 78才

大正4年7月27日生まれ

「一番思い出に残っていること」  
当時は隅屋の所の堀(勘重郎堀)は、かなり深かった。暑いのでそこで友だちと泳いでいたら、急にグラグラと来た。まさか地震とは思わなかった。草につかまろうとしたけれども、草が抜けてしまつてつかまることができず困つてしまった。その頃は泳ぐといつてもすっ裸だった。長い時間揺れてはいないから、揺れが止まつてから急いで上つて、着物で身体

をこすり、その着物を着て帰つた。

祖父が大きな丸太で家につかいかい棒をしていた。家族は「弘はどこへ行つた。弘はいないか。」と大騒ぎをしていたとか。私の家は木が大きい。家の柱も太く、しっかりしていたので倒れなかったけれども、あちこちでつぶれた家があった。竹藪があったので、そこに蚊帳を吊り、家族で三、四泊まった。地震がすっかりおさまつてから母屋に移り、生活を始めた。家がつぶれてなくなつてしまつた人は、たいへんだつた。とて



亀井義弘さん

遊んだ友だちは誰?

阿諏訪勝さん、柳川治郎さん、坂田美弥次さん、古谷藤一さん  
何を遊んだの?  
コマ、風上げ、石投げ。どこまで遠くとぶか、家の前の田圃に向つてやった。小さい時分なので、叱られることがないから、遠慮なく、「次は誰。次は誰。」といつてやった。

竹馬、竹とんぼ、縄とびなどもした。おもちゃがないので、主に竹馬とかコマぐらいだ。  
お蚕をやつたのでしょ  
やったよ。桑の葉を新屋の上の山とか中尾の畑とか玄瑠寺の後の桑畑へ摘みにいった。おふくろが採ってきた葉をききんで、小さい蚕の餌にした。蚕のいる室が家の中で一番いい所だった。中位

昔は一町五反位あったが、寺尾の端の方に一反二畝位の大きな畑があり、桑がとてよくできた。  
当時の戸数は?  
82軒しかなく家もまばらだった。萩園も83軒で、香川と変らなかつた。すべて自給自足でまにあつたので、茅ヶ崎へは出なかつた。蛭やどじょう、いなご、しじみ、うなぎ、ふななどいっぱいいた。の

最終はスマトラで聞き、21年に帰国した。運がよかつたといえよう。

日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
1	上	2	中	3	下	4	上	5	中	6	下
9:25	8:59	8:23	7:57	7:20	6:44	6:13	5:57	5:00	4:19	3:27	2:03
22:48	21:26	20:03	18:39	17:16	15:52	14:28	13:04	11:40	10:16	8:52	7:28
3:09	2:32	1:55	1:17	0:37	12:10	11:31	10:51	10:10	9:25	8:27	6:55
16:08	15:01	14:12	13:29	12:48		23:56	23:14	22:32	21:49	21:07	20:23
9:25	8:52	8:26	8:01	7:39	7:17	6:55	6:32	6:09	5:43	5:14	4:43
23:19	21:55	20:30	19:05	17:40	16:15	14:50	13:25	12:00	10:35	9:10	7:45
12:54	12:01	11:37	11:12	10:46	10:19	9:58	9:32	9:02	8:33	8:59	8:58
12:54	15:29	14:38	14:01	13:26	12:57	12:26		23:49	23:17	22:41	22:02

化である。火山性の地震、噴火等は九十日前より変化化する。この変化は大きく三度〜四度位となつて変化は続くが、二か月変化すると噴火とか火山性の地震は二か月で終わる。他の地震はこの変化に上積みされる。平成五年(一九九三年)の七月二十六日に大きく変化したまま現在に至っているが、本来ならば、伊豆方面に十月二十六日頃噴火が群発地震が発生しても良いのだが、今だに変化したままである。

しかし巨大地震は間もなく来ると言われて何年も過ぎたため、毎日毎日の計測は疎かになりがちである。だが、一九九七年の巨大地震発生の可能性は高く、磁石での地震予知の確率が高い。予告、約束をした日に来ると思うので、近くなつたら、方向磁石の変化を注意

の大ききになると、枝についている蚕を落さないように、広い土間の方へ持って行って飼った。養蚕の手伝いもよくやった。

# 消防団が連続表彰

香川と甘沼で構成されている第十六分団が、一月七日の出初式で、昨年に続き、市の消防長から表彰されました。無線、器具の整備、予防、機関、分団長会議出席など、総合判定の結果による栄誉です。

おめでとうございます。日頃のご苦労に感謝いたします。

(神奈川県消防学校副技官)

# さーくる紹介

寿カラオケ愛好会が発足したのは平成三年六月、以来はややかけ三年目。当初は十名足らずの会員も、今では五十名。週一回土曜日

## 寿カラオケ愛好会



愛好会の皆さん

に自治会館の一室を借りまして。上手に楽しんで唄ってあります。下手は別として、大きな声を出して楽しんで唄う事で、それがストレスの解消にもなり、健康維持に役立つと思っております。

特に先生はおりませんが、みんな課題曲を決めて唄って、今ではならった唄も二十二曲を数えており、老人会の新年会・総会、それに懇親会等で番組をくんで、それぞれ自慢のノドを聞かせております。会員の皆さんも熱心で雨など降った時、

「今日は集まりはど

うか」と思いながら自治会館に来て見ると、皆さん元気な顔を見せて下さいます。そういう時はカラオケ愛好会を作って本当に良かったと心から感じております。昨今では会員の有志の方々からカラオケボックスに出かけて行く事もあり、カラオケの当日出席がないと身体でも悪いのではと気にかかります。これからは会員の皆さんが元気で、楽しく唄い続けて欲しいと思っております。

連絡先

会長 津田辰雄 ☎582235

### 訂正

◇前号で市民集会の会場が、香川小学校であったのは、香川公民館、香川N.M体操クラブの集合時間が午後十時であったのは、午前十時の誤りでしたので訂正します。

## 夏の出来事

池田尚子



「一週間ぐらいで羽化するの棒を立てて下さいね」とYさん。

この夏の出来事は、自然は大切と漠然と思っていた私を問い直すことにもなりました。私が幼い頃は、夏になるとトンボがたくさん

「トンボが羽化するところを見たいですか。」「ええ、見たいです、見たいです。」  
即座に私は答えました。というのもYさんが昨年、「ちょっとした水たまりがあれば、トンボが産卵します。」と話して下さったので、ベビーバスに水を張り、庭に置いてみたのです。ホテイアオイには水の浄化作用があるので、二個入れて。ホテイアオイは美しい紫色

の花を見せてくれましたが、一年たってもヤゴは姿を見せなかったのです。水面の高さが地面と同じほうがいらしいと聞き、今年は庭木の下にベビーバスを埋めよう、と思っていました。

この夏の出来事は、自然は大切と漠然と思っていた私を問い直すことにもなりました。私が幼い頃は、夏になるとトンボがたくさん

## 図書館 だより

新刊書の紹介

- ◎死ぬための生き方 佐藤愛子
- ◎お母さんの愛情 伊藤友宣
- ◎ガンと闘ったスターたち 肥田正明
- ◎日本語はすてき 俵 万智
- ◎ナチュラルレストランガイド 柴田書店
- ◎ぐっすり眠れる本 村崎光邦
- ◎食べたいね安全な食品 いわさ恵美
- ◎わが家の建て替え 日本ツリーフォー建築協会
- ◎健康と運動と食事 鈴木正成

田辺美津枝  
寄せ植えとなつてしまへり七草菜  
七草粥の具にするのを楽しみに、七草を鉢に植えたが、出来あがった体はどう見ても寄せ植えとしか見えない。愉快な苦笑だ。五色糸縁起手毬をかがりある

藤井 謙昌  
なつな唄口ずさみつつ児と摘みぬ  
さざ波の初日をのせて寄せてをり  
初日が水平線をはなれて、だんだん高度を増してゆく。風の海のさざ波が、きらめきながら岩へ寄せてくる。今年の幸福を

## 俳句 茅花会

平塚司郎選

乗せてくるようだ。  
賀茂に架け弧を大きくす冬の虹  
藤村 球子  
二日酔すこし残りて初湯かな  
松過ぎの商人宿に荷が着きぬ  
湯川 章一  
新玉や社務所で神酒たまわりし

石田カツ子  
造営のなりし社で破魔矢受く  
初春の光溢るるなかを行く  
懐手拍子をとりに坂下る  
川名 千代  
初みくじ社の枝に蝶むすび  
晴着の娘袂に春の風すこし

とんぼの羽化するところ  
と飛んでいきました。脱殻殻は壁にかけてあった子どもゴグルについていました。棒から壁へ歩き、ゴグルが一番安全と判断して羽化したようです。虫の専門家で文化資料館の岸氏にたずねますと、篠竹はすべるから、と先端が二股に分れた小枝を作して下さいました。そしてついに7月31日、

この小枝で羽化したのです。ヤゴの体が割れ、白っぽい頭を逆さにして足がかたまるのを待ち、起き上がって残りの体を殻から抜きます。トンボの体がだんだん伸びて色づいていくのは神秘的でした。  
ベビーバスを埋めるなら、と夫が庭に穴を掘りました。ビニールシートを敷き、水を張り、セリ、ミゾソバ、オモダカなど植物を植えると、池らしくなりました。それが今年の夏の出来事です。



秋になり庭の池に落ち葉が随分つもってきました。そんなある日子どもが2cmほどのヤゴを発見しました。ヤブヤブのヤゴです。我家で羽化したものが戻って産卵したのでしょうか。夏がとも楽しみです。